

大学生等のアルバイト労働に関する調査（報告）

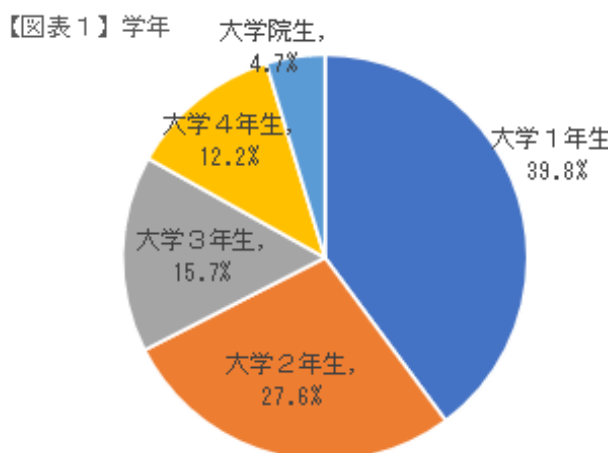
日本労働組合総連合会徳島県連合会（連合徳島）

- ・調査期間 2024年12月～2025年1月末
- ・調査対象 徳島県内の大学(徳島大学・鳴門教育大学・徳島文理大学・四国大学)に在籍する学生、院生
- ・調査方法 グーグルフォームを活用したインターネット回答
- ・回答数 492人

（１）属性

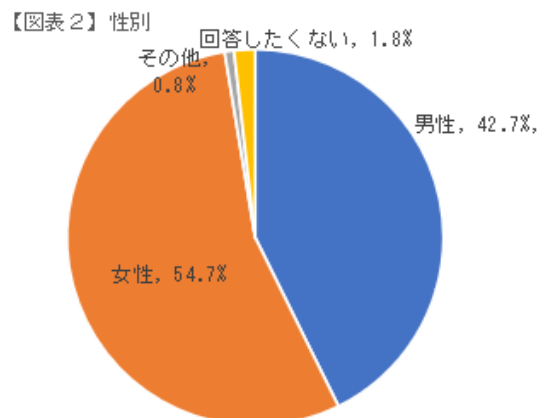
① 学年

大学1年生 196人(39.8%)、大学2年生 136人(27.6%)、大学3年生 77人(15.7%)、大学4年生 60人(12.2%)、大学院生 23人(4.7%)であった。【図表１】



② 性別

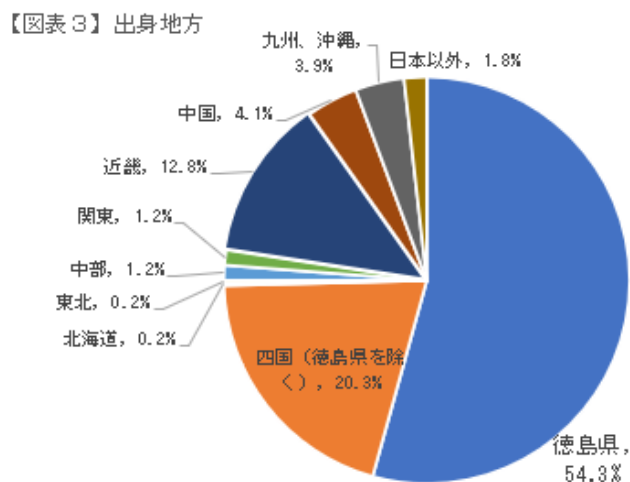
男性 210人(42.7%)、女性 269人(54.7%)、その他 4人(0.8%)、回答したくない 9人(1.8%)であった。【図表２】



③ 出身地方

徳島県が最も多く、267人(54.3%)で半数を超えた。徳島県を除く四国地方が100人(20.3%)、近畿地方 63人(12.8%)、中国地方 20人(4.1%)と続いた。

【図表３】

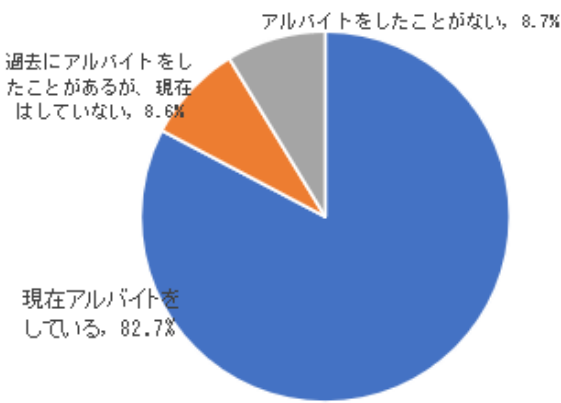


④ アルバイト労働の有無

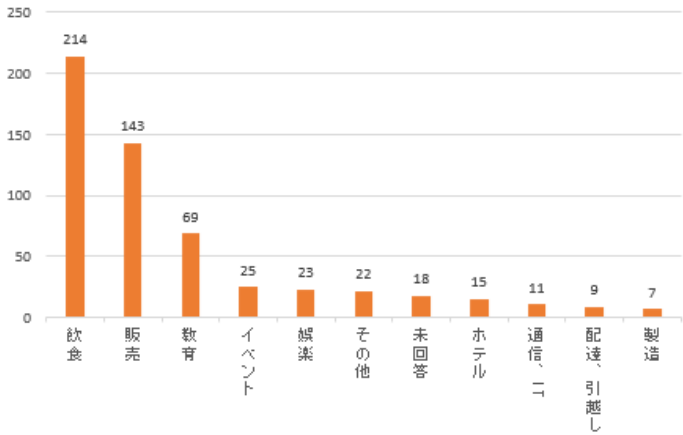
「現在アルバイトをしている」のが 407 人(82.7%)であり、「過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしない」 42 人(8.6%)、「アルバイトをしたことがない」 43 人(8.7%)となった。【図表 4】

「現在または過去にアルバイトをしたことがある」と回答した 449 人うち、業種では「飲食」の 214 人がもっとも多く、「販売」143 人、「教育」69 人、「イベント」25 人と続いた。なお、業種については複数回答とした。【図表 5】

【図表 4】 アルバイト労働の有無



【図表 5】 業種(複数回答)



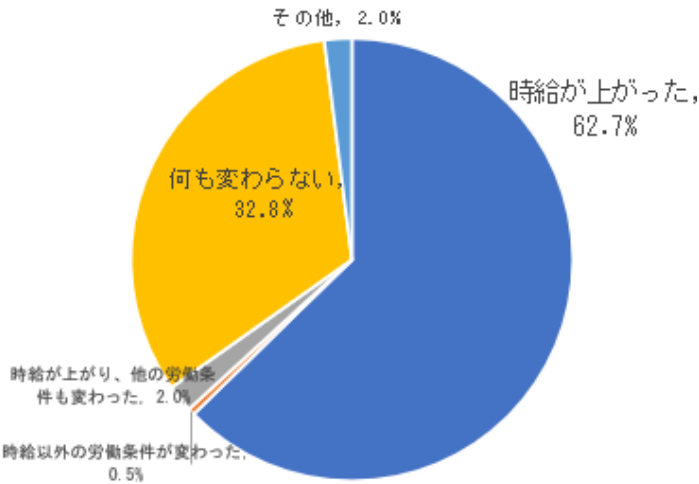
(2) 最低賃金引き上げによる労働条件への反映

現在アルバイトをしていると回答したうち、最低賃金の引き上げで 255 人(62.7%)が「時給が上がった」と回答した。【図表 6】

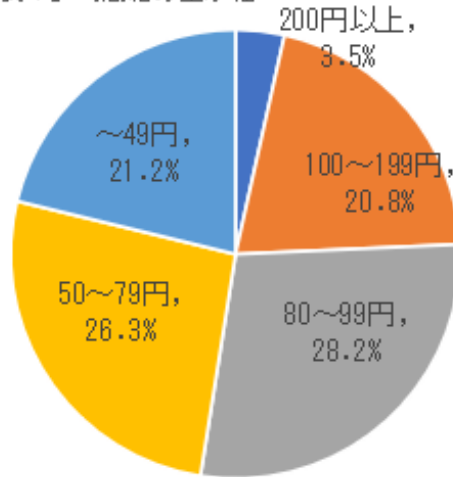
上がった額については、「80～99 円」が 72 人(28.2%)と最も多く、次に「50～79 円」67 人(26.3%)、「～49 円」54 人(21.2%)、「100～199 円」53 人(20.8%)となった。また、「200 円以上」と回答したのも 9 人(3.5%)となった。なお、掛け持ちでアルバイトをしている方については、いちばん高い額を問うた。一方で、労働条件は「何も変わらなかった」と回答したのが 134 人(32.8%)だった。

【図表 7】

【図表 6】 最賃引き上げによる反映



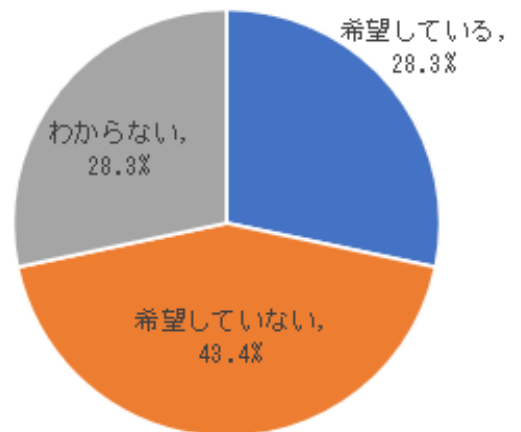
【図表 7】時間給の上げ幅



(3) 徳島県内での就職希望

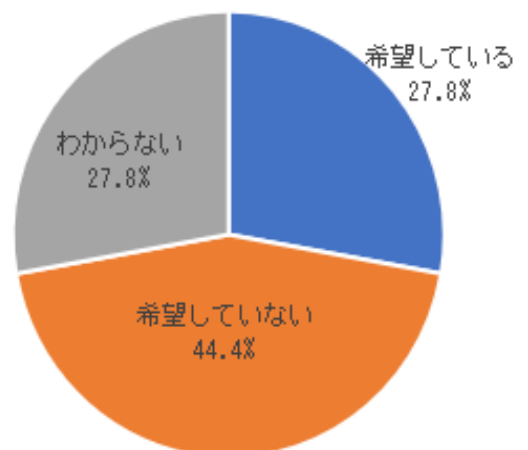
①学校を卒業後、徳島県内で就職を「希望している」139人(28.3%)、「希望していない」214人(43.4%)、「わからない」139人(28.3%)だった。【図表 8】

【図表 8】県内での就職希望



②現在アルバイトしていて、「時給が上がった」と回答した255人のうち、71人(27.8%)が徳島県内での就職希望であり、「希望していない」113人(44.4%)、「わからない」71人(27.8%)だった。【図表 9】

【図表 9】時給引上げと県内での就職希望



③時給の上げ幅と県内での就職希望では、希望する割合がもっとも高くなったのは「100～199 円」であり、53 人中 19 人(35.9%)が「希望している」と回答した。一方、最低賃金引上げにより「何も変わらない」と回答した 134 人のうち、県内での就職を「希望している」と回答したのは 32 人(23.9%)であり、67 人(50.0%)が「希望していない」と回答した。【図表 10】

【図表 10】 時給の上げ幅と県内での就職希望

